

考え、議論する道徳

☆自分との関わりで道徳的価値を考える授業

- ・登場人物に自我関与して自分との関わりで気持ちを考える

☆自分との関わりで多面的、多角的に考える授業

- ・どのような理由で大切なのか
- ・どうすることが考えられるか



「多面的、多角的に考える」ために、
「議論（他者の考えや感じ方との交流）」が必要！

【授業展開の工夫のポイント】

①様々な指導方法 ☆それぞれの要素を組み合わせてもよい。

- ・読み物資料を使った、登場人物への自我関与が中心の学習
- ・問題解決的な学習（生徒の問題意識から、学習課題を考えさせる授業/モラルジレンマ）
- ・道徳的行為に関する体験的な学習（役割演技など）

②自己を見つめ、多面的・多角的に考える工夫

- ・他者と交流する時間の設定（ペア、グループ、クラス全体）※意見を一つにまとめるわけではない
- ・自分事として考えさせるための発問
「～をどう思いますか」「AとB、どちらに賛成ですか」「あなたならどうしますか」など

③終末部の工夫

- ・授業を通しての気づきや考えたことを書かせる
- ・感動的な人物の逸話や教師の体験談を聞かせる
- ・教材中の人物に手紙を書かせる

大切なのは、「生徒に考えさせたいこと」
を明確にすること！そして、ねらいに
迫るための中心発問を吟味すること！

学校評価項目

	【保護者用】 5段階（「分からない」含む）	【生徒用】 4段階	【教職員用】 4段階
1	お子さんは、友達の良さを見つけるなど、人との関わりを大切にしていた。	友達の良さを見つけるなど、人との関わりを大切にしていた。	友達の良さを見つけるなどの指導を行い、生徒は人との関わりを大切にしていた。
2	お子さんは、きまりを守り、基本的な生活習慣が身についている。	きまりを守り、基本的な生活習慣が身についている。	指導を行い、生徒はきまりを守り、基本的な生活習慣が身についている。
3	お子さんは、自分の学級は、安心できる場であると感じている。	自分の学級は、安心できる場であると思う。	指導を行い、生徒にとって自分の集団は、安心できる場となっていた。
4	お子さんは、先生に悩みや問題を相談しやすいと感じている。	先生に悩みや問題を相談しやすいと思う。	一人一人を大切に、生徒が先生に悩みや問題を相談しやすい雰囲気を作られていた。
5	お子さんは、先生が頑張ったところや良いところを認めたり褒めたりしてくれると感じている。	先生は頑張ったところや良いところを認めたり褒めたりしてくれると思う。	生徒の頑張ったところや良いところを認めたり褒めたりして、自己肯定感の向上に努めた。
6	お子さんは、自他の命を尊重し、交通ルール・マナーを守るなど、事故・けがに気を付けていた。	自分や他人の命を尊重し、交通ルール・マナーを守るなど、事故・けがに気を付けていた。	自他の命を尊重する指導を行い、生徒は交通ルール・マナーを守るなど、事故・けがに気を付けていた。
7	お子さんは、情報モラル講座、道徳、学活、ノーメディアチャレンジや家庭での話し合い等を通して、情報モラルに関する意識を高めた。	情報モラル講座、道徳、学活、ノーメディアチャレンジや家庭での話し合い等を通して、情報モラルに関する意識を高めた。	情報モラル講座、道徳、学活、ノーメディアチャレンジを通して、また家庭での話し合いを促すなど、情報モラルに関する意識を高めていた。
8	様々な学年・学校行事は充実していた。	様々な学年・学校行事は充実していたと思う。	様々な学年・学校行事は充実していた。
9	お子さんは、達成したい目標や叶えたい希望・夢がある。	達成したい目標や叶えたい希望・夢がある。	生徒の希望・夢を育んだり、目標の達成に向けて支援した。
10	お子さんは、授業がわかりやすかったり、充実したりしていると感じている。	授業がわかりやすかったり、充実したりしていると思う。	授業がわかりやすかったり、充実したりしている（と思う）。
11	お子さんは、「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思って勉強している。	「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思って勉強している。	生徒が「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思えるよう、授業の工夫をした。
12	お子さんは、「南中は日本一幸せな学校」だと感じている。	南中は「日本一幸せな学校」だと感じている。	南中は「日本一幸せな学校」だと感じている。
13	学校は「便り」やHP、メールを通じて、情報等を発信している。	先生や友達は、分かりにくいところを教えてくれる。	学校は「便り」やHPを通じて、情報等を発信している。
14	お子さんは、家庭学習習慣が身に付いている。	家庭学習習慣が身に付いている。	指導を行い、生徒は家庭学習習慣が身に付いている。
15	お子さんは、いつでもどこでもさわやかな挨拶ができた。	いつでもどこでもさわやかなあいさつができた。	いつでもどこでもさわやかな挨拶ができた。
16	お子さんは、黙働清掃ができた。	黙働清掃ができた。	黙働清掃ができた。
17	お子さんは、勉強と様々な活動（部活動や委員会活動等）に全力で取り組んだ。	勉強と様々な活動（部活動や委員会活動等）に全力で取り組んだ。	自分は「価値ある仕事をしている」という実感がある。
18	その他、ご意見があればお書きください。		自分は「学校で価値ある存在である」という実感がある。
19			自分は「成長している」という実感がある。